

伊賀市体育施設再編計画策定に向けての検討課題

【体育施設再編計画策定の目的】

平成 27 年 3 月に策定した伊賀市公共施設最適化計画を進めるにあたり、スポーツ振興の視点から体育施設に関して、コストの状況、利用の状況等の各要素について現状把握を行い、伊賀市生涯スポーツ都市宣言との調和を図り縮小、一部縮小、複合化など具体的な方向を定めるため。

【基本的な考え方】

- 計画の対象は、伊賀市内にある 33 施設を対象とします。(別添)
- 上位計画である 27 年 3 月策定の公共施設最適化計画を踏まえつつ、伊賀市生涯スポーツ都市宣言との調和を図るための体育施設のあり方について検討する。

【計画期間】 2019 年～2030 年

【具体的課題 1】

伊賀市のテニスコート関連施設には上野運動公園テニスコート、上野緑ヶ丘テニスコート、ゆめが丘テニスコート、いがまちスポーツセンター、阿山第 1 運動公園及び青山テニスコートと 6 つの施設が点在している状況であり、利用状況及び管理運営の観点から公共施設最適化計画では 3 つの施設を取壊し集約する方向が示されている。スポーツ振興の観点からその方向を検討する。

【具体的課題 2】

伊賀市の体育館には、伊賀市民体育館、青山北部公園運動施設、青山児童屋内運動場、青山高尾体育館、大山田東体育館、阿山 B & G 海洋センター及び大山田 B & G 海洋センターの 7 つの体育施設があります。老朽化の著しい青山北部公園運動施設について、支所移転もともなっており廃止について前倒しして実施せざる状態であります。その場合の青山地区の体育館の整備方向を検討する。

【具体的課題 3】

伊賀市のプール施設には、上野運動公園プール、阿山 B & G 海洋センタープール及び大山田海洋センタープールの 3 施設があります。老朽化の著しい上野運動公園プールの廃止について前倒しして実施せざる状態であります。また上野運動公園競技場が 2022 年度開催の三重国体サッカー競技の会場になることから、プールの後地をウォーミングアップの場として芝生広場にし国体後も夏場だけでなく、はば広く有効利用したいと考えています。上野地内に公共のプールがなくなることから、代替えとして学校のプール利用、B & G プールへの無料送迎等を検討していますが、スポーツ振興の観点から検討を要する。